

がんば

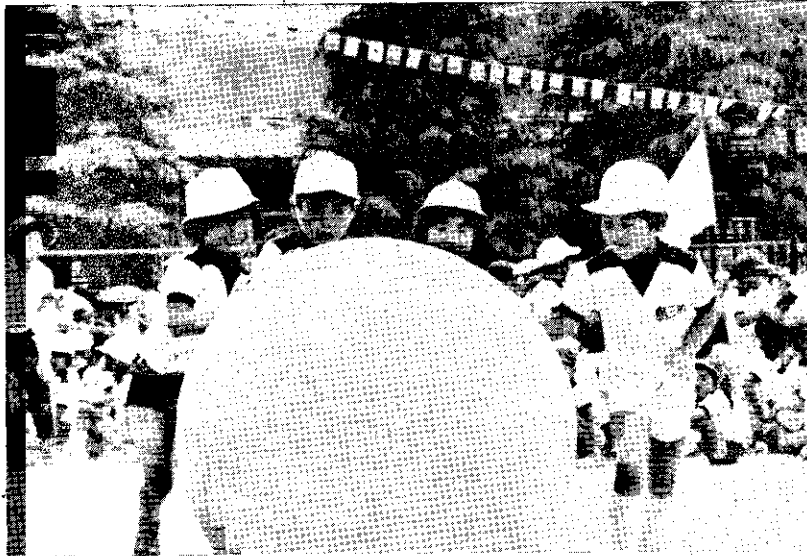
島三小育友会報
発行部
発 報
広 報 部

〔第62号〕

まっすぐころがれ

みんなでワッショイ!

春季大運動会



ごあいさつ

教頭 大場 昭 生



輝かしい伝統を誇る本校に着任いたしました三ヶ月、本校を育ててこられた諸先輩、育友会の方々をはじめ、地域の皆様方に対し、自分に与えられた職務の重責を痛く感じております。

実は、昭和二十三年から十四年間にわたり勤務をさせて戴いた学校であります。一步校内に足を踏み入れた時、引続き務めていたような感にうたれました。

周りの景色は大分変り、校区のシンボルであった白山がなくなっているのは、何となくさみしさがこみあげてきました。

育友会発足の折に在職していたわたくしは、現在の会員の方々が当時活躍された方々の子どもさん達であり、教え子であることに何とも言えない力強さを感じました。

この三ヶ月間の育友会の方々のすばらしい活動を見る時先輩の方々の努力が立派に実っているのだと思えました。

学校ではどんなよい教育をしようと思っても、学校教育の限界があり、家庭には代

われないものがあります。学校では全体的な人づくりの努力はしていますが、教科の内容を身につけることで人づくりをねらっており、ほとんどの時間が教科の学習に使われます。集団生活の中でもっともたいせつな基本的しつけは、家庭が、親が、気をつけて伸ばしていくことが必要となってきました。ここに育友会の存在が重要になってくると思います。

なぜ先生と両親の集りが必要かというと、子どもは、家庭・学校・社会といるいろいろな場で生活をします。それをいろいろな面から見、一貫して正しい理解のもとに効果的な指導をするため、お互いに目の届かない面を理解しあうためだと思えます。

このように考える時、本校の育友会が、本来の目的を遂行するため、日夜努力されていることに対し頭のさがる思いがいたします。今後、なお一層育友会のご協力を戴きまして、本校教育の発展を期していきたいと思っております。

「手をとりにあつて 子どもたちの健全育成を」

副会長 片山 千代薫

子供達と共に夢中になつて過しているうちに、早や十年たつてしまいました。

子供達の純粋な涙や笑いが私の心の支えとなつて、どうやらこれまでやつてこれました。

時には、非行に走つた子供達もありました。

私は、彼らに全身でぶつかり、互いにそれこそ血と涙を流しあつてきました。彼らが次第に立ち直り、そして良きリーダーとして成長して行つたとき、私は子供会のお世話をしてきた喜びをしみじみと味わうことができました。

一方、やむなくPTAの役員をお引き受けするはめになり、体育部・生活部のお手伝いをしてきました。その間、代議員の方々と共に、育友会として、子供達の非行防止、生活教育環境の見直し、その他、数々の活動を行つてきました。

また、最近、新校舎落成バザーの益金で、校庭の一角

に立派な相撲場が出る事になりました。子供達の体力増強に活用されることと期待しています。

私が役員になつて痛感しましたことは、多大な苦勞に耐え、黙々と子供達のために活動しておられる方が、役員の中に、あるいは町内に何人もいらつしやることでした。

部では、こうした活動や活動家に批判的な発言があると聞きます。しかし、それよりもまず、一緒に手をとりにあつてPTA活動にとり組もうではありませんか。

そして一緒に活動していく中でよりよい活動を目ざして改善していこうではありませんか。

学校と親とが共に手をとりにあつていけるのは、活発なPTA活動を通してであり、それが、子供達の健全育成につながるが、子供達の健全育成に思ひます。



三小 百万円

視聴覚機器の 購入費として 十八銀行より

会 長

前山四郎
新校舎には視聴覚教室が設置され、内容機器の充実が求められてまいりましたが、不幸にも火災により機器を消失してしまいました。充実を計るため、

楽しかった運動会

二年

前田 清徳

五月三十一日(日曜日)運動会が行われました。朝から雲ついていた空も午後からは五月のさわやかな日差しが照り、お母さん方は日傘をさしての声援。「○○ちゃんガンバレ」大きな声で手を叩いての応援、子供達もそれに応えるように一生懸命走ります。私も自分の子供がリレーで走っている姿を見て「あの小さかった、両腕で抱っこをした子がこんなになつたのだなあ」と思う。なおもわず目のまわりがジーンと熱くなるのを感じました。きつと他の親御さんもそうであった事でしょう。競技種目の中で私自身印象に残りましたのは、入学してまだ二ヶ月足らずの一年生の球ころがしのかわいい走り方、それをハラハラして見ていらつし

学校より湊支店を通して、十八銀行社会開発振興基金に申請がされたもので、それが認可されたためです。

研修旅行で嬉野小を見学しましたが、すばらしい視聴覚機器がありました。三小もこの百万円を一つの核として、立派な視聴覚教育が出来る事と思ひます。

千々石少年自然の家 野外活動を終えて

五年担任

織田 丈治

毎年五年生を対象に行なっている千々石少年自然の家の野外活動を今年も六月十日、十一日の一泊二日の日程で実施いたしました。

野外活動は自然に親しませ、集団宿泊訓練を通し、協力、奉仕、責任の精神を養い、心と心のふれ合いの教育として確信をもつて実施しています。梅雨入りで心配されていた天候にも二日間とも恵まれ、一人の事故者もなく無事終了できたことをうれしく思ひます。



こんにちはよろしく

子どもたち、父兄一同おまちしておりました、新卒の先生、転任して来られた先生に自己紹介と三小の子どもたちの印象などお聞きしました。諸先生方には、この三小在任をいちばん充実した教員生活とされ、想い出多い学校としていただきたいと思います。

教頭 大場昭生先生

島原生生まれの島原育ち、一七六センチの大男も、はや毛髪前線が大分後退しました。時がたつのは早いものです。三小で最初に受持った子どもたちがもう四十三歳、私におとらず髪のうちくなった人もいます。

新任の頃よく白山に絵をかきに行きました。船がよく見えしました。普賢や眉山も画きました。

土曜、日曜には、秩父ヶ浦や安中方面の野山を本多君浦田)たちと毎週のように歩きました。

海にも行きました。ドンペン島でキャンプもしました。宮原君(坂上)がおぼれました。



た。びっくりしました。着物ごと飛びこんで助かりました。今でも毎年年賀はがきをくれます。有難いことです。

最近の子どもは「三ざ主義(遊ばず、学ばず、働かず)とか、三無主義(無気力、無感動、無責任)とかいわれられています。

二十一世紀に生きる子どもです。世界人口は六十二億になるそうです。限られた資源生きるのがむずかしいです。きびしい現代社会を、強くたくましく生きていく、実践力のある子どもを育てたいものです。

一年三組

林田昭子先生

出身地 島原
趣味 読書?
特技 なし

気もちを新に頑張りたい。久しぶりに三小にもどってまいりました。昭和二十一年四月、新卒で三小に赴任しました。母の銘仙の着物で洋服をつくり下駄をはいて石段を登り、三小の玄関に立ったとき三小はすばらしく近代的な白亜の殿堂にみえました。三年担任、六十七名、男子が多かった記憶があります。教室が足りなくて一年生と二部授業でした。一年担任の先生に可愛い子どもさんが二人いて、よくつれていらつしゃっていました。授業のことはあまり思い出しません。その二人の可愛い子どもさんと遊んだ事はよく思い出します。今の体育館が建っているあたりに白山があって、よく子どもたちとかけ登ったものです。今は昔の面影をしのばせるものは、ほとんどなくなりましたが白亜の殿堂?だけはすこしも変わらなずそびえています。おとなりにすばらしい校舎が建ったので、ちょっぴりみすばらしくは見えませんが……。

二年三組

池田輝美先生

はじめまして。今年の三月に大学を卒業したてのピッカピカの一年生です。生まれは島原ですけれども、三小に来たのは生まれて初めてです。児童数が多くてびっくりしました。

さて、趣味、特技と言っ別にないのですが、体力だけには自信があります。(学生時代は自他ともに認めていました)スポーツなど体を動かすことが好きです。と同時にコーヒーを飲みながら雑誌を読んだり、何も考えずポケーとして音楽を聞くのが好きです。小学校の時は、四人の先生に教えていただいたのですが、四人とも、とても良い先生方で今でもよく覚えています。でも、職員室は苦手で、先生と話すのも照れくさかったことを思い出します。

最後に、三小の子どもは、とても元気がよくて、一日一日がとても楽しいです。

二年五組

岩里温代先生

みなさん こんにちは。
一学期間、二年五組の担任を

させていただきます。三小は児童数が多いので、騒がしい学校だろうと思っていました。が、静かで、子供たちは、とても素直でした。

また、狭い運動場で、子供たちが、休み時間、楽しく遊んでいることは、見ていて、とても気持ちが良いものです。この広報誌が発行される頃に、島三小とお別れです。また、お会いできますように。

養護講師

元田悦代先生

私は、六月二十四日より、横田先生の産休補助として保健室で勤務していますが、自分の出身校で働くことができ幸運だと思っています。また、私の小学生時代の先生と一緒に勤めるのは、不思議な気持ちです。学生時代の私は、健康だけが取り柄でしたからあまり保健室には、出入りしませんでした。が、島三小の子供たちは、元気な証拠ともいえる傷が多いようです。これから僅かの間ですが、心身共に健康な児童の育成のために微力を尽くしたいと思います。

三年四組 古賀典子先生

今年、新卒採用で三小にお世話になることになりました。三小は、私の母校です。ちょうど十年前、卒業しました。白山が体育館になり、木造校舎が新校舎になり、大きく変わったところもあります。たいへん思い出深い学校であることには変わりありません。この三小で、教師としての第一歩を踏み出せることを嬉しく思います。

四年一組

豊島美絵子先生

出身地 南串山町京泊 (加津佐から汽車通勤)
趣味 手芸、あみ物
特技までいきませんがスポーツは好きです。

(子どもとの思い出)
私は、新任生活を五島、有川中で三ヶ年すごしました。その時の子どもたちは、今、三十四、五歳。体が大きく、わんぱくで手こずらせた子どもが何人もいました。一度五島へと思う心はあっても、実行できずにすぎました。

学生時代は、軟式庭球をやっていた。自分の試合に頑張るとともに、近くのスポーツセンターで小学生の指導にも力を入れてきました。その経験が生かせたらと、現在クラブ活動で、テニス部もついています。最近はいそがしくて、自分の練習時間がとれないのが残念です。

専門は体育です。体は鍛えてあるつもりですので、一生懸命がんばります。どうぞよろしくお願ひします。

四年四組

富永美智子先生

出身地 島原市田屋敷(古丁)
趣味 レコード鑑賞・読書、時々バイオリンを弾くこと。

(子どもとの思い出)

昨年飯野小学校に行っていました。飯野小学校は小さい学校でしたが、学校の中にはゴミ一つ落ちていない整理整頓された清潔な学校でした。子どもたちも純真で教師の言うことも素直に聞き、思いやりのある子どもたちでした。(鳥三小の子どもについて感じたこと)

五年三組

多田美千枝先生

出身地 佐世保市 現在(浦の川)
趣味 なし
特技 なし

十八年目、教員をはじめてずい分たちました。年だけくつたみたいですが、まだまだまよいの多い月日を送っています。

北松浦郡の離島をふり出しに、大三東小、鳥二小と、今度が四度目の勤務校です。教え子の中に、今でも気がかりな子がいます。その子の出産と同時に母親と死別し、

じたこと)

第三小学校は市内の小学校なので、すばらしい期待をもっていました。学級の子どもたちは明るくてとても元気がありましたが、中には乱暴な子どももあって、一時はとまどいもした。三小は今年道徳の研究校なので、「よいことをしよう。」と呼びかけたところ班で競争してよいことをするようになりました。人生において道徳が一番大切だと思います。思いやりのある楽しい学校にしたいと思つて、子どもとともに頑張つております。

情障学級

大隅謙一郎先生

三小から四小へ転動して五年、また三小へ戻ってきました。さしずめ「帰ってきたウルトラマン」というところでしょうが、まったくの無芸大食、「帰ってきた大食漢だらうなあ。」とは、ある先輩の言。教職十六年のうち半分の八年は三小で。それだけに、三小には特別な愛着をもっています。二十代の元氣盛りの頃は、かつての白山を、子どもたちと一緒に走って走りまわったものです。彼らもう立派な社会人。時々遊びに来て、その頃の思い出話に花を咲かせます。

現在、内地留学生として長崎大学で研修中。大学生と共に講義を受けたりしながら、固くなりかかった頭と精神の若返りに懸命です。

十月には帰って、情緒障害児学級を担任します。学校教育の中では特異な分野ですがそれだけに、責任を強く感じています。

よろしく、ご鞭撻ください。



テスター
安藤 一郎 先生

紙上より、自己紹介を兼ねて改めて着任のごあいさつを申し上げます。

出身地は先祖は小田原・秋田と流れて幕末は箱根・韓国ソウル市に生まれて戦前に島原に漂着。生まれ故郷で両親に育まれている子どもたちを心からうらやましく思います。

趣味は手品と推理小説の中毒。手品で人をだまし続けること二十年。まだバチは当たっていません。推理小説はあらかた読みつくし(少し大げさ)以後自分で書くより他には：と思っています。

特技は(厚くましく挙げる)とすれば(速記。泉式を少々)は一生忘れないようです。但し、これで一財産作れませんでした。

担当は「テストター」として障害児教育の問題・検査・教育相談で校区の外を駆けずり廻っています。障害を持つ子どもたちのゆくえには、厳しい問題が多すぎます。特殊教育について皆様方のお一層の暖かいご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

情障学級
長門 緑先生

「今、おいくつですか?」という言葉を聞くと、ちよっと

ドキッとすると今日この頃……大隅先生の研修期間の六月、お世話になっております。「心に病いを持つ子ども達の学級があるんです。」というお話しを聞き、島原三小の情障学級の子ども達と勉強をはじめ、テレビや本でもよく耳にする障害をもった子ども達に実際接するのは始めてで、とまどうことばかりでした。しかし子ども達はとて純粋で、教えられることばかりです。私の一生のうちで一番心に残る時を子ども達からももらった気がします。

「ハクサン運動」 家庭調査 アンケート

昨年、島三小では三つの生活目標をかかげて、「ハクサン運動」として取り組まれています。先日、家庭での実態調査が行われ、その結果が発表されたので、ここにご紹介いたします。

各項目の数字の単位は「%」です。どの学年も似た傾向が出てくるようです。紙面の都合上、くわしい説明をのせることはできませんが、それぞれのご家庭でよく読んで、今後の参考にしていただけだと思います。

問1 「おはよう」「おやすみ」のあいさつ

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつもする	54	41	46	45	38	51	46
イ.ときどきする	40	51	44	43	54	37	45
ウ.ほとんどしない	6	8	10	12	8	12	9

問2 「ありがとう」「わかりました」の返事

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつも言える	42	30	32	34	29	27	32
イ.ときどき言える	54	64	58	56	59	60	59
ウ.ほとんど言えない	4	6	10	10	12	13	9

問3 「いつてまいます」のあいさつ

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつもできる	83	83	85	86	81	80	83
イ.ときどきできる	14	14	13	11	15	16	14
ウ.ほとんどない	3	3	2	3	4	4	3

問4 「ただいま」のあいさつ

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつもできる	86	79	79	83	74	77	80
イ.ときどきできる	14	17	18	11	22	15	16
ウ.ほとんどできない	0	4	3	6	4	8	4

問5 「はい」「いいえ」の返事

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつも言える	48	33	23	29	33	31	33
イ.ときどき言える	51	61	63	63	55	54	58
ウ.ほとんど言えない	1	6	14	8	12	15	9

問6 勉強用具や持ち物の整とん

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつもできる	35	23	22	18	25	31	26
イ.ときどきできる	56	58	50	59	60	52	55
ウ.ほとんどできない	9	19	28	23	15	17	19

問7 ごみはごみ入れに入れる

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつもできる	48	53	39	37	44	40	44
イ.ときどきできる	49	39	54	52	48	54	49
ウ.ほとんどできない	3	8	7	11	8	6	7

問8 ごみがあるとひろう

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつもひろう	11	7	10	9	9	6	8
イ.ときどきひろう	56	59	59	61	58	62	59
ウ.ほとんどひろわない	33	34	31	30	33	32	33

問9 使ったものはもとへもどす

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつももどす	15	21	12	12	21	19	17
イ.ときどきもどす	69	61	68	64	58	55	64
ウ.ほとんどもどさない	16	18	20	24	21	16	19

問10 歩きながら物を食べる

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.しません	28	26	33	25	31	30	29
イ.ときどきします	64	65	58	65	62	64	63
ウ.よくします	8	9	9	10	7	6	8

問11 「お手伝い」はすすんで最後までする

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.きちんとできる	19	17	18	18	19	17	18
イ.だいたいできる	61	60	56	56	53	55	57
ウ.注意しないとできない	20	23	26	26	28	28	25

問12 外出時の名札(行き先、帰宅時刻など)

学 年	1	2	3	4	5	6	全
ア.いつもしている	67	54	58	44	48	53	54
イ.ときどきしている	30	38	35	46	43	38	38
ウ.ほとんどできない	3	8	7	10	9	9	8

各専門部の動き

近づく球技大会

体育部

去る六月九日ソフトボールとフットベースボールの監督会議を開き、全町内出席の中、充分協議し決定した事項を報告します。

一、期日、七月二十六日(日曜日)雨天の場合は二十七日

二、場所 男子 霊丘公園
女子 三小グラウンド

三、試合方法

・バート(A、B、C、D)優勝でリンクリーグとする。

・組合わせは、当日午前八時より主将に抽選させる。

・賞状は、各バート二位までとし、一バート同位優勝、あるいは同位二位もあるものとする。その他のチームに敢闘賞を与える。

(ソフトボール)

・試合回数は七回とし、五回七点差コールド。同点は引分かで、試合時間一時間十分の制限で行う。

・バートは金属、木製共、一号を使用する。

(フットベースボール)

・試合回数は、七回とし、コールドなし。時間制限一時間十分。

・監督の子供に対しての指示

山下利秋

は、ベンチ内で行う。

・同点は引分け。

・指名代打をもうける。(キックのみ一回だけ、守備はしなくてもよい。)

・チーム人数は、最高十五名最低十名とする。

・ボールは原則として、ホームベースの左側におく、どうしても右側において蹴る場合は、監督から相手チームに伝える。

四、その他

・平日の練習は、午後のみとし、指導者がついていなければならぬ。

・夏休み中の練習は、朝五時から、午後六時までとする。

その場合、必ず指導者をつける。

・練習場所と時刻は、体育部で決定する。

五、各バート

男子 Aバート Bバート

◎霊南 A 新山東

◎栄町 A 新山西

◎下川尻 崩山

◎坂上 広馬場、中組

◎浦田上 白土船津、上、下

◎浦田下 白土船津、上、下

◎Cバート Dバート

◎緑町 津町

◎有馬船津 坂下、八幡、元船

◎桃山、蛭子 港新地

◎川尻、南風 霊南 B

◎泊、蛭子鼻

◎南下川尻 栄町 B

◎南下川尻 Bバート

◎下川尻 新山西

◎浦田下 坂上

◎南下川尻 有馬船津

◎新山東 浦田上

◎栄町 霊南

◎Cバート

◎津町 川尻、蛭子鼻

◎崩山 南風泊

◎湊新地、元船津 中組

◎Dバート

◎白土船津上、下 八幡

◎坂下

◎蛭子町、桃山 広馬場

◎緑町

町内代議員の方々、監督さんまた、お世話下さる方々には、大会が終わるまで、色々大変なことと思えますが、子供達の為に、今年も皆様方の御協力をお願い致します。なお、市フットベースボール大会は、八月二十三日に開かれます。一チームでも多く参加して下さい。



研修旅行

教養部

原口芙蓉

六月十一日(木)に育友会研修旅行を実施しました。本年度は、給食部と合同で、佐賀県嬉野町立嬉野小学校を視察しました。

参加三十一名で、午前七時五十分に出発、約二時間半のバスの旅です。

あいにく降り出しそうな空模様でしたが、帰りつくまでどうにか持ちこたえました。

嬉野は佐賀県の西南端に位置する。人口二万人の町であり、茶と陶器の生産が盛んで有名です。

嬉野小学校は町のほぼ中心にあり、創立は明治六年で創立百年をこえる古い学校です。

児童数は約千三百名、四棟の校舎からなり、広い運動場と隣接したセンター方式の給食施設があります。

嬉野小のPTAの方々や先生方と約四十分懇談し、各々のPTAにおける問題や活動内容などについて活発な意見の交換が持たれました。

嬉野は、温泉地であり、中心街は旅館・飲食店等が多く、子どもたちの夜の環境としては、決して恵まれていないなど、意見が出ました。

三小とは、PTAの組織構成がまったく違うので、比較することは出来ませんが、両親学級、広報紙(湯の里)発行、夜間パトロール、廃品回収、母親コーラス、ソフトボール大会、母親バレーボール等、活発なPTA活動がなされている模様です。

また、各専門部の活動とは別に部落PTAの活動があり、町内学級代議員を各専門部に分ける三小の組織とは構成が異なっています。給食設備、施設を見学の後、バスは、のどかな田園風景の中を祐徳院稲荷神社へとむかいました。祐徳院で昼食、休憩の後、一路帰路には、和氣あいたいのゲームや歌などで、楽しい時を過しました。

他校のいろいろな方と接するよい機会です。もっと多くの方の参加を希望いたします。

一学期の活動について

学級部 成瀬 国春

学級部の柱である学級親睦パレール大会を六月二十八日行いましたが、四回目を迎え、今大会は、参加者も多くなり、特に父親の参加が目立ちました。今まで知らなかったお父さん達とふれ合いの場が出来たすばらしい親睦パレール大会でした。

また、一学期の活動の一選として、代議員研修会を五月二十八日実施いたしました。講師として市教育委員会社会教育主事であられます加藤勝彦先生にお願いいたしましたところ、公私共おおいそがしい中を学級部の趣旨をご理解下さりまして講演をしていただきまして先生のお話しに大変得るところがあり、参加者も今後の活動の中に取り入れ、大いに活躍しようとして張り切っています。

あるクラスの父母の方から「朝早くから、おにぎり作りをして中食時にクラス全員でおにぎりを食べながらなかなか楽しい親睦会が出来ました。今後是非続けてほしい」との話も聞きました。

パレール大会の盛況も会員の皆様方のご協力の表われと感謝いたしております。

望まれる「給食設備の充実」

嬉野小学校を視察して

保健給食部 福島 一美

六月十一日、教養部主催に保健給食部も便乗させて頂き、嬉野小学校へ三十名程で、視察に行つて参りました。この学校は三小より大きく、児童数も一三六七名、学校自体も明治六年に開校され、伝統もある学校でした。校舎も段々畑

のように三棟上の方に並んで、建てられており珍しいと思われました。この小学校には、嬉野町学校給食センターが設置されており、ここから小学校四校、中学校三校に運搬されていきました。

昨年、有明給食センターを



視察した時、四十二年に開始されたというところで、丁度同じでしたが、機械の設備等は、有明センターの方が近代化され、進んでおりました。

給食費は、二、七〇〇円で三小と同じです。週に二回米飯給食が取り入れられています。親の身勝手なお願いかも知れませんが、島原にも早く給食センターが出来、中学校も実施されることを願う次第です。

もう一つ、この地方では、家庭から始めようということ、オアシス運動が実施されておりました。

オは、おはよう。アは、ありがとう。シは、失礼。スは、すみません。の言葉です。日頃出来る様で、なかなか出ない言葉ですが、これを機会に我家も励行していこうと思えます。

なくそう「心の病」地域の皆さんの協力で

生活部 古井 久輝

初めての生活部ということで、何をどのようにすれば良いのかわからないうちに一学期も過ぎようとしております。その間、荒木、板倉両ベテラン先生、それに先輩の方々のご指導、ご協力のもとに生活標語の募集、町内巡視、生活指導研修会の実施を一学期の目標としてきました。

生活標語におきましては、例年どうり全生徒から募集し千点余りが集まり、その中からどれを選べば良いか、わからぬほどの傑作ばかりで最終的に二〇点選考するのに苦労しました。日頃の日常生活のこと、娯、交通問題など関心が、よりよい生活を求める子供達と努力しておられるかが、全標語の中に表われておりました。

今年には、保護者と子供の合作ということで、親子連名で記載したいと思えます。また、町内巡視のことは、毎月第二土曜日を巡視日と決めております。各町内で時間帯、巡視の方法など町内の方々と相談

談されて都合のいいように行われて結構だと思います。昨年の事を聞きますと子供達のため場となりやすい空小屋、人目のつかない暗い場所などかなりあるようです。特に夏休み中は、そのような危険個所の点検をお願いいたします。町内巡視とも関連があると思えますが、七月三日生活指導研修会を全育友会の方々を対象に催しました。

白山地区の補導員の方を講師に「地域の生活とコミュニケーション」という演題で、子供達と「ハダカ」でつきあうために、

二、公序良俗を正しく伝えよう。

三、問題児は、心の病人です。など色々例をあげて話してくださいました。その後、いくつかのグループに分かれて補導員の方々と懇談、意見交換がおこなわれました。

子供達を非行から守り、健全な生活を求めて、私達、父母は努力していかなくてはならないと思えます。



生活標語

入選作品

島三小 生活部

今年で六年目を迎えた生活標語は、応募者五百六十四名作品数千百二十五点が寄せられました。

回を重ねるたびに、内容の充実したものが多くなり、掲示用として使用する作品の選出にも、いろいろと苦勞をしました。

そのような中で、次の二十点を優秀作品として採用し、順次各町内に掲示することに致しました。

* * * * *
防ごう！ 不良化
町内ぐるみで
蛭子町 石井 久 輝 淳

人の子も 我が子と同じ
愛の声
南川尻町 山口 哲 史 剛

どうしたの 一人で迷わず
みんなに相談
崩山町 岡 さとみ 巖

やるな もらうな
お金のおこりあい
柴町 松尾 貴 子 秀 紀

母さんに 言えないことは
やめようね
広馬場町 大町 朋 美 光 則

母さんに 話そう 聞かそう
その日の事を
新山西 出田 達 也 正 明

幸せは あなたの家庭
しつけから
坂上 増崎 義 幸 幸 幸

美しい町 美しい学校
ひとりひとりの 心がけ
坂上 前田 美 和 清 徳

知ってるかい 小さな親切
大きな 喜び
南風泊 山下 マキ 忠 孝

ぼくらは しない 道草
飛び出し むだづかい
柴町 松尾 杉 雄 智

みんなで守ろう みんなで
作った みんなのきまり
中組 田浦 由 佳 国 正

ミュージックチャイム 鳴ったら
帰えろう 声かけあって
浦田船津下中 村隆之 乙 春

あぶないよ!! ふみきり
道路のふざけっこ
浦田船津下 中村 光 一 雅 子

集団登校
みんな 笑顔で 三小へ
浦田船津上 三浦 誠 子 敏

朝 昼 晩 明るい
あいさつ 元氣よく
浦田船津下 本多 信 義 敏 造

おはようと
えがおでかわす 友と友
元船津 吉田 恵 美 米 広 美

「おはよう」のあいさつ
かわそう まず 家族から
下川尻町 山口 裕 子 健 蔵

ゆずりあおう 助けあおう
三小の子
下川尻町 島田 幸 彦 真 喜

「はい」「すみません」「ありが
とう」すなおな心で楽しい生活
八幡町 佐藤 万里子 聡 明

好きさらい失して 食べよう
感謝して
緑町 緒方 かおり 唯 男

「座禅」

身心の安定と忍耐

靈 南 成瀬博功

子供達の肅然と座禅を組んだ姿に実はおどろかされる。私達の靈南子供会が中堀町にある江東寺の早朝座禅に参加することになってから早や三年である。

江東寺の方には大変お世話になるのですが、成育の著しい子供達にとって毎月第三日曜日は、その毎日が新しい静との出会いであるようだ。早朝六時は子供にとって早い。早朝もやをつけて徒歩での出発であるが、子供達も何かいいものを感じているのだらう。

不思議と参加者が減らない。あるいは、帰ってからの「ぞんざい」のごちそうが楽しみかもしれないが……。甘えん坊な子も、そうでない子も。勉強のできる子も、そうでない子も。スポーツのできる子も、そうでない子も。中学生も小学一年生もみんな座禅に入る。

願わくば身心の安定と忍耐感謝と信頼をそれぞれの子に求めらるのである。体力の向上への取り組みに併せ精神的な内面の充実にも眼を向け、その一つに座禅をとり入れられた先輩の着眼と指導力にはおそれるのである。

「身」「心」とともにすこやかに育つように「早朝、愛する子供を励まし、おくり出す親の願いは、任職の寺田禅隆さんの願いでもあるようだ。



編集後記



この号は、各専門部の活動状況と新任先生方に原稿をお願いして感想をお聞かせ頂きました。ご協力心から感謝しております。

子どもたちの健全育成へ教師、父兄が一体となって、よりよきPTAの確立を進めることが私たちに荷せられた任務だと思えます。そのためにも意志、情報交換の役割を持つ、広報(がんばん)のご利用を望みます。

皆さんからの一言をお待ちしています。ご協力、ご声援をお願いします。